

五分館だより

第44号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 ブランニング
(堀本 明一)

堀越の今日

平成15年5月現在
戸数 88戸
人口 366人
(男174・女192)

春日神社春の祭典 全員で協力して盛り上げる

春とはいえ、雨交じりの寒い日でしたが春日神社の春の祭典の準備が行なわれました。様々な事情で参加人数も少なく大変でしたが年番、保存会の協力で無事祭典が終了しました。

昨年は年番で、祭りに参加をさせて頂き、今年は保存会の会計で違った角度で参加をさせて頂きました。今年も選挙の関係で、お祭りが一週間ほど早まり、段取りは大変ではなかったかと思えます。

例えば年番の皆様も、保存会の皆様も、第二土曜日なら休みの人も多いと思えますし、又神楽の練習日程更に獅子巡回時は、消防の行事とも重なり当初から本当に大変だといわれていたが、春日神社の春祭りは堀越区民が楽しみにしている行事でもあり、成功させなくてはと、気持はよけいに焦ってしまいました。保存会の仕事は今までは傍から見ただけで、自分自身で何をしたら良いの

か、まったく解らない状態でした。しかしそんな心配事も練習に参加をしてくれた、年番の皆様、又保存会の皆様の応援で無事に段取りをする事が出来ました。四月五日の準備には、生憎の雨降りとなりましたが午後からは雨も上がり、宵宮翌日の獅子巡回、神楽奉納を努める事が出来ました。



お祭りは一見大人の行事のような感じがしますが、地域の子供たちが居てこそ成り立つものではないかと思っています。夜店で子供たちのやり取りまた嬉しそうな顔など、現在ではゲームなどで外に出ない子供たちが多いと聞いていますが、大人と子供が一体となり、地域全員で協力をして行なう事が祭り

私の好きな本

堀本 一子

作家であり、作詞家でもある有名な「なかにし礼」さんが書いていた「てるてる坊主の照子さん」上・下巻です。主人公の照子さんには、御主人と四人の娘がいます。空襲の最中に結婚式を行い、軍人であった主人は、戦争に行かなくなると復員し、パン職人に、照子さんは、当時珍しかった、テレビを買い求め喫茶店を始める。これが大当たり、上二人の娘に、フィギアスケートを習わ

の意義ではないでしょうか。これからも堀越区民のお祭りとして後世に残していきたいと思えます。

胡芝 米山利之



せ、長女は、後に冬期オリピックに出場、親の期待に答えます。主人公は、いつも、何かに挑戦し成功したり、失敗したりの繰り返し、その影で、いつも、御主人は物事を冷静沈着に見て、照子さんを、励まし力付けて来たのです。そんな親の背中を見て育った四人姉妹、スケートのコーチ、歌手、女優皆それぞれの道を進み、照子さんは今、大阪池田で御主人とお孫さん

豊丘村農業委員当選

武田 幸義 氏

今回豊丘村農業委員の改選に当たり、当地区の選考委員の方々によりご推薦を受け微力も省みず御受けする事になりました。農業情勢の厳しい中、豊丘村の農業振興と職務全うに努力して参る所存で

ございます。以前にも増して御指導御鞭撻の程、お願い申し上げます。つきましては農休地又、農地利用又設定等に於いて御気軽にご相談下さる様、重ねてお願い申し上げます。御挨拶とかえさせて頂きます。

豊丘村議会議員選挙

初当選

菅 沼明 人 氏

告示直前となっても、候補者の確定が出来ず、ピンチヒッターで、飛び出したような次第ですが、今になって反省検討課題があり、地区、自治体の推薦の廃止論も深まり、意欲のある人が勇気を出して立候補し、その賛同者で立ち上げて、

輪を広げる方式が、選挙にまつわる、しがらみも無く民主的で、よい方法かなあと、体験しました。改選後初の臨時議会が、五月八日に開催され、吉川村長より、第四次総合振興計画の実行初年度にあたり、財政難の中で、村の将来に

重要な影響を与える市町村合併問題を抱える大事な時期で、公約した五つの願いと、心のふれあい、幸せ実感、うるおいの郷づくりの為、村民の声を聞きながら、村民福祉の充実に全力で取り組みたいと述べ、議会に協力を求め議事進行されました。議会では人事案件や専決処分等数多くありましたが、助役、収入役の選任案件は

移動図書を利用して下さい。(図書部)

に囲まれて仲良く暮らしておられるそうです。最近、移動図書を利用したり、テレビで本の紹介を見て、本屋さんに行ったりして、少しの時間でも本を読むことが、私の楽しみのひとつになっていきます。これからも続けていこうと思っています。

先送りされ、議長に吉川玲副議長に北沢貢、常任委員会の構成は次のとおりです。◎は委員長、○は副委員長、総務◎下平豊久○丸岡茂、川野孝子、松村正三、北沢貢、社会◎片桐秀人○前沢光昭、片桐真理子、筒井博吉川玲経済建設◎唐沢啓六○菅沼明人、下平喜隆、松井尚子。最後になりましたが、告示の前日立候補の最終決断し、選対委員長松下源実さん、会計北林弘さん、事務局全般を田島悦男さん、林惇さんの各氏が中核となり、告示の当日午後二時に、部落長や、木炭組合の方々がポスター、マイクの取り付け等協力願ひ二時半には、小椋美恵子さんの力強い美声で村内を一巡することができ、夕方五時から事務所開きの予定を祝勝会に切り替え盛大にできたことを、感謝申し上げます。御礼のご挨拶と致します。

公民館総合保障制度

補償期間 平成15年5月1日から
平成16年5月1日まで

●補償内容

- 死亡・後遺症……………1,200万円
- 入院(1日当たり)……………6,000円
- 通院(1日当たり)……………3,000円
- 急性疾病死亡見舞金……………120万円

事業に参加してけが等をした場合のみに
摘要します。(3歳以下の子供さんは対象外)

平成15年度第五分館予算書

収入計金 1,988,250円
 支出計金 1,988,250円
 差引合計 0円

収入の部

項目	15年度予算額	14年度予算額	差引増減	備考
前年度繰越金	372,243	355,524	16,719	
区より助成金	950,000	900,000	50,000	
本館より助成金	446,000	446,000	0	戸数割り92戸
本館事業助成金	100,000	100,000	0	納涼大会
本館事業助成金	0	50,000	▲50,000	文化祭
本館事業助成金	120,000	0	120,000	区民運動会
貯金利息	7	76	▲69	
収入の部計金	1,988,250	1,851,600	136,650	

平成15年度 事業計画

五月	グループ調査 分館報発行(第44号)
六月	桜の手入れ・草刈(6月1日) グラウンド整備
七月	部落対抗球技大会(7月27日) 種目によって予選会あり 検討中
八月	納涼大会(8月9日) 分館対抗球技大会(8月15日)
九月	桜の手入れ・草刈(9月7日)
十月	グラウンド整備
十一月	堀越区民運動会(11月2日) 日程9月に行なうか検討中。
十二月	分館報発行(第45号)
一月	村政懇談会
二月	冬期スポーツ大会(本館) 公民館学習会・講演会(分館)
三月	美化運動(3月7日) 分館報発行(第46号)

◎球技大会・区民運動会は予備日はありません。
各事業につきましては、回覧にて詳細をお知らせ致します。(日程が変更になる場合もあります)

支出の部

項目	15年度予算額	14年度予算額	差引増減	備考
地域美化運動	70,000	70,000	0	
部落対抗球技大会	150,000	140,000	10,000	
納涼大会	220,000	220,000	0	
各種大会参加費	150,000	130,000	20,000	各種目10,000円まで
文化・学習活動費	60,000	70,000	▲10,000	
育成会助成金	80,000	80,000	0	
分館だより制作費	90,000	100,000	▲10,000	
グループ活動助成金	160,000	170,000	▲10,000	新規・再活動は5,000円から
マレットゴルフ大会	0	30,000	▲30,000	
ソフトバレー大会	0	30,000	▲30,000	
堀越文化祭	0	100,000	▲100,000	
区民運動会	340,000	0	340,000	
備品購入費	30,000	60,000	▲30,000	
会議費	80,000	80,000	0	
役員手当	388,000	388,000	0	
役員反省会費	60,000	60,000	0	
公民館補償保険	60,000	60,000	0	
本館役員交流会費	20,000	30,000	▲10,000	
予備費	30,250	33,600	▲3,350	
支出の部計金	1,988,250	1,851,600	136,650	

お知らせ

◎各事業等の内容確認又は詳細は部落役員の方に説明してありますので役員の方に確認してください。

◎夏になりますと焼肉用の鉄板の利用が多くなります。日程がわかり次第分館へお知らせください。重なった場合は申込みの早い方に貸し出します。(鉄板6枚あり)

ガスは除く

黒谷箋

大手バンクの一角、りそな銀行に国民の税金二兆円が投入され政府の管理下に置く実質国有化が決まった。銀行の財務体質の脆弱化がいわれて久しいが、長引くデフレ不況によって改善するどころか一層泥沼にはまり深刻さをましている。

公的資金の投入は政府の預金保険法に基づく、特別支援の適要第一号となった。預金は全額保護され、日銀も特別融資で支援して、他の銀行に及ばないような万全の措置をとり、金融危機に至らないようにすると表明したが当然のことである。

バブル経済に便乗し狂乱したのたまさしく銀行であった。この付けと言べき不良債権が経営の重荷になっているのは同情の余地のないところだ。そこに国民の税金を一人当たり二万円弱を注ぎこむなど納得できない。しかし経済の潤滑油と心臓の役割を果たす銀行が機能不全に陥っては、日本そのものが沈没してしまうとの論説を受け入れざるを得ない。

リストラ、価格低迷、倒産など苦しい生活を余儀なくされている人達から見れば国に守られて仕事、生活が出来た人達は本当に厳しい経済状況など解らない。